

WEDDING 引出物について GIFTS

おふたりのパーティーにご参列いただいたゲストへの感謝の気持ちを込めて。おふたりの特別な日とともに過ごし、幸せを共有した記念に。NOVARESEではゲストの好みや、おふたりのスタイルに合わせて、様々なウエディングギフトをご用意しています。ここでしか手に入らないNOVARESEオリジナルギフトは、特別な日を祝福するために作られた特別なギフトです。

引出物の由来

引出物は平安時代の貴族が宴の成功を喜び、主人が庭に馬を「引き出して」お客様に贈ったのが始まりと言われています。また、物のない時代に食べ切れないほどのごちそうで客をもてなしたことが始まりという説もあります。

引出物選びについて

披露宴でゲストにお渡しする引出物にはお返しの意味があり、かつては折詰料理や品物を豪華に用意しました。現代では記念品の意味合いが強くなっていますが、基本的にはもらったゲストが心から喜んで受け取っていただけるものを贈るのが、引出物本来の姿です。贈られた人の立場に立って、珍しい、あるいは役立つ、良い記念になる、と思ってもらえるものを選ぶと良いのではないのでしょうか。ゲストの年齢や好みに合わせて記念品を数種類用意する場合があります。お品選びは大変ですが、その気配りはきっと喜ばれること間違いありません。

ご注文は挙式・披露宴日の2～1ヶ月前にはおおよその数をご連絡いただき、遅くとも3週間前までには正確な数をご連絡ください。(挙式・披露宴の1週間前以降は引出物の数の変更はお承り出来ません)なお、ご夫婦を披露宴にご招待する場合には、それぞれひとつでも、ご夫婦でひとつでもかまいません。また、ご媒酌人様、令夫人様にはお品をかえてひとつずつお渡しします。

引出物リストはダウンロードしたゲストリストより作成することができます。→P.35
<http://www.novarese.co.jp/guestlist.htm>

引出物選びのポイント

1、引出物の渡し方

- (E) 当日お持ち帰りスタイル ⇒ TIMELESSカタログ
- (F) 後日お届けスタイル ⇒ TIMELESS PORTER

2、引出物の内容

- (E) 記念品 品物、カタログギフト
- (F) 引菓子
- (G) その他 名披露目、鯉節、赤飯等は必要か検討

3、引出物のパターン

- 1 パターン 親族、会社、友人の全ゲスト
 - 2 パターン 親族／会社、友人 または 親族、会社／友人
 - 3 パターン 親族、会社、友人
 - 4 パターン 親族、会社、女性友人、男性友人
- ※4パターン以上の場合、「もぎり」を引出物袋にお付けすることをお勧めします。

WEDDING 引出物について GIFTS

引出物の品数と内容例

一品の場合	記念品
二品の場合	記念品、引菓子
三品の場合	記念品、引菓子、名披露目(鯉節、赤飯 等)
四品の場合	記念品、引菓子、鯉節、赤飯
五品の場合	記念品、引菓子、名披露目、鯉節、赤飯

古くからの風習は、折詰料理、引菓子、焼物(かつお節・昆布)の3品、また果物、記念品を加えた五品というのが一般的でした。しかし最近では、ひとり当たり2~3品が一般的です。品物と引菓子の組合せが最も多く、これに鯉節を加え3品にする方もいらっしゃいます。鯉節のかわりに紅茶やコーヒー、ワインを組合せることも可能です。引出物の数は、結納品の品数などと同じように、奇数が好んで用いられます。これは、奇数が「割り切れない」ことから、おふたりの仲が決して割れることのないよう縁起をかついだものです。縁起を気にする方もいますので、ご両親様と相談して品目数をご決定ください。

引出物・引菓子・名披露目の意味

引出物・・・大切な日の記念としての贈物

引菓子・・・参列者の帰りを待つご家族様へのお土産としての贈物

名披露目・・・本来は、結婚後に新婦様のお名前をご近所に披露する「名披露(なびろう)」のために名前を入れた風呂敷に物品を包み、挨拶回りをしていました。それを簡略化してあいさつ回りの代わりに、引出物の中に「寿」と印した熨斗紙におふたりのお名前を書き入れた名披露の品「名披露目」を贈るようになりました。

熨斗

引出物は「ご両家様からのご挨拶の品」ですから熨斗にはご両家様の姓を。

名披露目は「おふたりからのご挨拶の品」ですから熨斗には新郎新婦様のお名前を入れるのが一般的です。通常、新郎様の姓名が右側、新婦様の姓名が左側になります。(婿養子の場合等は逆になります。)

熨斗紙は、縁がほどけないよう紅白か金銀の「結び切り」を使用します。

引菓子の表書きは「寿」のみになります。

